

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

千葉県 習志野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	91.49	63.91	2,062	

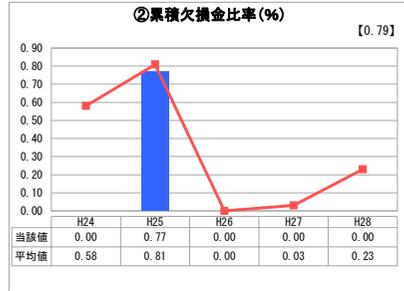
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
171,861	20.97	8,195.57
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
109,839	12.04	9,122.84

グラフ凡例
■ 当該団体の値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

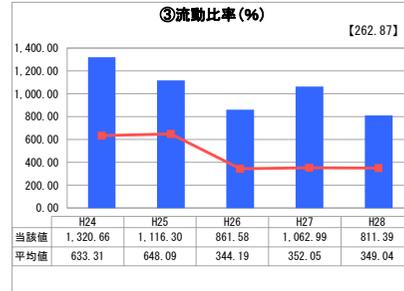
## 1. 経営の健全性・効率性



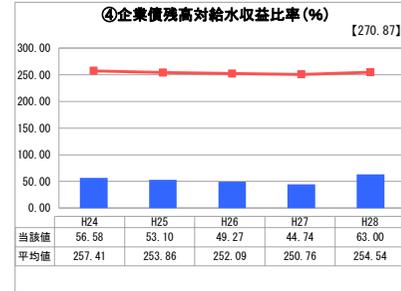
「経常損益」



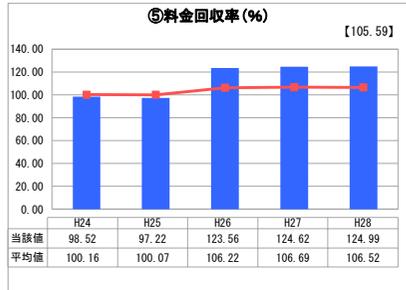
「累積欠損」



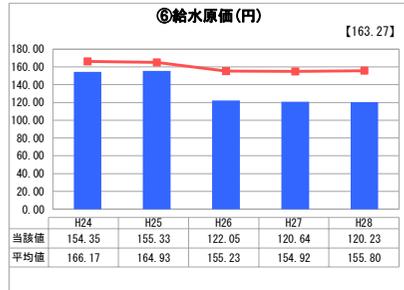
「支払能力」



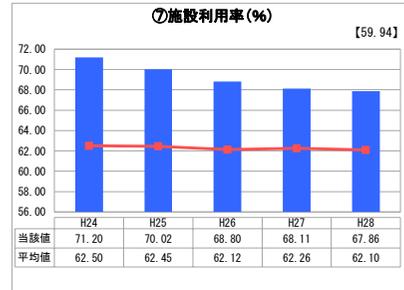
「債務残高」



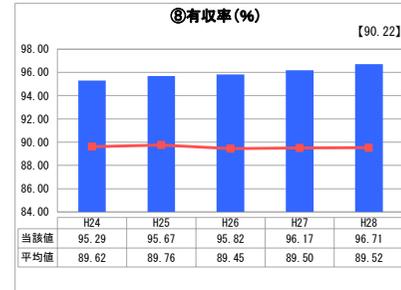
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

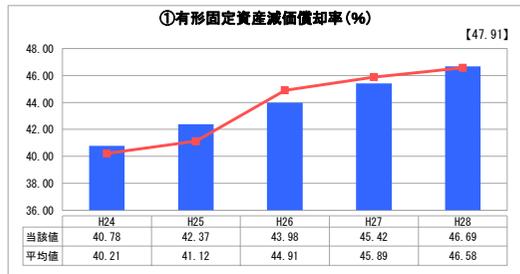


「施設の効率性」

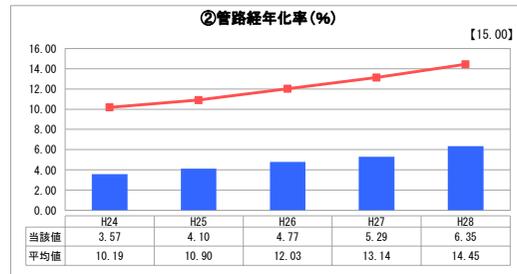


「供給した配水量の効率性」

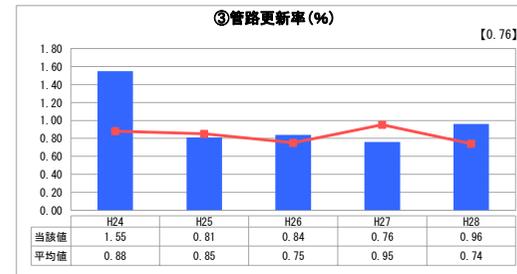
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率  
数値は100%を超えかつ類似団体の数値よりも比較的良いですが、給水収益以外の収益に依存しているため、引き続き経営改善に向けた取り組みが必要であると考えられます。
- ② 累積欠損比率  
平成25年度以降に発生しておりませんが、給水収益が減少傾向のため、経営改善に向けた取り組みが必要であると考えられます。
- ③ 流動比率  
数値は100%を超えかつ類似団体よりも良好な数値であるため、短期的な債務に対する支払能力を有していると考えられます。
- ④ 企業債残高対給水収益比率  
数値は類似団体と比較すると低いが、企業債残高が増加傾向のため、今後も注視していく必要があります。
- ⑤ 料金回収率  
数値は100%を超えのため、給水に係る費用が給水収益で賄えているが、給水収益は減少傾向にあるため、今後も注視が必要になります。
- ⑥ 給水原価  
数値は類似団体と比べ良好だが、有収量は減少傾向にあるため、今後は原価が増加する可能性があります。
- ⑦ 施設利用率  
数値は類似団体と比べ良好であり、施設の利用状況や適正規模も適切であると考えられます。
- ⑧ 有収率  
数値は類似団体と比べ良好であり、100%に近づいてきているため、施設の稼働状況が収益に反映されていると考えられます。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率  
数値が増加傾向で類似団体と同様に推移しており、資産の経年化が進行してきています。
- ② 管路経年化率  
数値が増加傾向で類似団体と同様に推移しており、法定耐用年数を経過した管路が増加してきています。
- ③ 管路更新率  
数値が増加傾向で類似団体と比べ良好であるが、今後の経年更新も適宜見直しなが計画していく必要があります。

## 全体総括

経営の健全性・効率性について、概ね良好ではありますが、給水収益が減少傾向にあるため、収益改善を委員会等で検討していきます。  
老朽化の状況について、類似団体と同様に施設等が経年化傾向にあるため、適宜計画の見直し等を検討していきます。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。